

平成25年10月 7日

観光戦略課
電話 0742-34-4739

平成24年奈良市観光入込客数について

1 観光客数の概要

平成24年中に奈良市を訪れた観光客は、13,324千人で前年の13,135千人に比べ、189千人(1.44%)の増となりました。

2 種別前年との比較

平成24年の観光客数は、一般観光客が87千人の増となり、また修学旅行・外国人旅行者もともに増加となりました。その結果、総数では189千人の増加となりました。

種 別		H23年観光 入込客数(千人)	H24年観光 入込客数(千人)	増減 (千人)	増減率 (%)
一 般	宿 泊	1,230	1,281	51	4.15
	日 帰	10,915	10,951	36	0.33
	計	12,145	12,232	87	0.72
修学旅行	宿 泊	96	97	1	1.04
	日 帰	720	728	8	1.11
	計	816	825	9	1.10
外 国 人	宿 泊	30	56	26	86.67
	日 帰	144	211	67	46.53
	計	174	267	93	53.45
合 計	宿 泊	1,356	1,434	78	5.75
	日 帰	11,779	11,890	111	0.94
	計	13,135	13,324	189	1.44

3 主な増減要因

(1) 平成23年に比した平成24年の観光客数の増加要因としては、東日本大震災の発生から2年が経過し、訪日外国人数が徐々に回復してきたこと、国内観光客の旅行自粛ムードが減少してきたことなどが考えられます。観光庁が6月に発表した

「宿泊旅行統計調査（平成24年1月～12月）」でも延べ宿泊者数の前年比を見ると、全国で5.3%増、近畿地方で見ても京都府12.7%増、大阪府7.3%増、兵庫県3.9%増、和歌山県4.6%増、奈良県10%増となっています。また、平成23年度に「奈良市東京観光オフィス」が行った代官山でのライブペインティングや、「1日奈良漬け特別授業」などの開催、観光庁などが主催する「VISIT JAPAN トラベルマート 2011」へのブース出展など、首都圏で実施した積極的なプロモーションによる効果も要因の一つと考えられます。



(2) 外国人観光客については、全国的に平成23年の621万人から平成24年は835万人と34.4%増加しており、東日本大震災の影響からの回復傾向が見られます。特に東南アジア諸国からの旅行者の増加が著しく、JNTO(日本政府観光局)が発表している平成24年の訪日外客数(全国総数)の前年比を見ると、タイ79.8%増、マレーシア59.7%増、インドネシア63.9%増となっています。また、奈良市の観光案内所の国籍別外国人観光客案内内訳を見ると、タイ73.9%増、マレーシア239.8%増、インドネシア94.7%増となっており、全国的な流れを受けて、奈良市でも東南アジア諸国からの旅行者の割合が大きく増加している傾向が見られます。東南アジア諸国にはムスリム(イスラム教徒)の割合が高い国も多く、まだ人数としては少ないですが、今後も大きな伸び率が見込めるムスリム旅行者に対して、信仰・戒律に基づく食事「ハラールフード」の提供や礼拝への配慮など、受入態勢の整備を検討していく必要があります。

(3) 修学旅行生については、「奈良市東京観光オフィス」による首都圏での教育旅行誘致活動などもあり、平成23年と比較して宿泊・日帰りともに微増となりました。しかし、総務省の人口推計によると平成24年4月1日現在の15歳未満人口は、昭和57年から31年連続減少の過去最低の数字となっており、年々少子化の流れが厳しさを増しています。そのため、従来通りのやり方に拘泥することなく、多面的なアプローチを検討しつつ、歴史的・文化的遺産に恵まれた奈良の魅力を活かした、宿泊を伴う教育旅行の誘致活動等を一層進めてまいります。